



“移住先”としての箱根の魅力と課題
～トライアルステイをサポートして感じたこと～

黒澤 孝一さん オーベルジュで働くため、2010年移住。移住後は、箱根で暮らす人、働く人が充実した休日を送れるようにと新たなコミュニティを発足。今年度は交流会の企画調整をはじめ、交流会で参加者と積極的に意見交換をしていただきました。

鈴木 教仁さん 2009年「ハコネマウンテンリッパー」を起ち上げ。生まれ育った箱根をフィールドに大自然のアウトドアツアーの提案、ガイドを行っています。今年度は移住者である奥様と交流会を中心に参加者の移住相談を受けていただきました。

下園 菜摘さん 2014年移住。当初はホテルで働くも、箱根をもっと知りたいと、現在は箱根ビジターセンターでガイドをされています。今年度はビジターセンターで参加者の方に箱根の自然や地形の解説、自身の移住体験を話していただきました。

鈴木 清隆さん ペンションで働くため、東京の会社を退社し、2004年に家族で移住。移住後は消防団や地域の観光協会などでも活躍。その後不動産業を始め、今年度はトライアルステイの入退去、不動産相談、交流会などを担当していただきました。



参加者の皆さんと家庭菜園を体験

黒澤 仙石原の商店の方に親切してもらったと喜んでいました。こういふのも都会とは違ったふれあいですよ。

鈴木清 今はパソコンとインターネットさえあれば自宅で仕事ができる人も多くなっています。今回の参加者の方もそういう人が何人かいて、コワーキングスペース(注)みたいなものが箱根にもあったらいいと言っていました。

黒澤 そうですよ。そういう場所があると地元の人や移住者、箱根に長期滞在して仕事をする人が集まってまた何か生まれそうな気がします。

下園 そのほかでは、やっぱり箱根の生活で心配な部分もあるようで…。例えば冬の光熱費とか。

黒澤 子育てもやっぱり多少不安はあると言っていました。そのあたりは行政と私たちの経験を伝えてしっかり不安を取り除いていきたいですよ。



町内を案内 (ビジターセンター)

—参加者の方にもこのプログラムは好評でした—

鈴木教 こういった取り組みをもっと進めていってほしいですよ。今回は仙石原でしか他の地域でもやれたら。

下園 私も来る前にこういったプログラムに参加できれば、移住の不安は少なくなっていたと思います。

鈴木清 そうそう、やっぱり見知らぬ所に移住するのは、覚悟が必要だから。

黒澤 参加者の方も仕事以外でどう知り合いを増やしていくかということに心配していましたね。そういったコミュニティがあるかと。

鈴木清 そういった地元の人と移住者が交流できる受け皿は必要ですね。この前三浦市にも視察に行きましたけど、行政主導でなく、民間がやっているところは、柔軟に動いていて、とても参考になりました。



先輩移住者のお宅を訪問

—これからの課題はありますか？—

黒澤 皆さんとても箱根を気に入ってもらえたみたいですが、希望する物件がないという点で、なかなか次に進めないのが勿体ないですよ。

鈴木清 滞在中に賃貸物件があれば見たという相談も多かったです。

黒澤 僕自身も家を探していた時になかなか見つからなかった。町民の人にもこういう取り組みや熱意のある人を知ってもらって、うちの空き家貸してあげるよと言ってもらえるといいですよ。

鈴木教 生活していくうえでは、地域の人と馴染み、触れ合い、一体となってこの移住だと思つので、交流会なども先輩移住者だけでなく、地元の人も巻き込んで意見交換をしていきたいですね。その上でお互い協力し合えることができれば地域の特性を活かした新しいものが生まれそうな気がします。

—今年度トライアルステイにお手伝いいただきありがとうございました。振り返っていかがでしょうか？—

鈴木清 トライアルステイは3年目ということでしたが、私は今年度初めてお手伝いをさせていただきました。私自身も15年前に箱根に移住してきたので、その時を改めて思い出しました。

鈴木教 私も交流会に参加させていただきましたが、皆さんそれぞれ意識が高くて驚きました。その中でもビジョンがある方は質問も多いし、良い面も悪い面もたくさんお答えしたいなと思いました。

黒澤 そうですよ。僕もいろいろな参加者の方とお話しさせてもらって、逆にたくさん刺激をもらいました。

下園 私もビジターセンターで箱根の地形や自然などの概要を説明するつもりが、いつの間にか私の移住話に…。いつも予定時間をオーバーしていました。でも皆さん、観光で来たことはあっても生活目線で箱根を知ると、いろいろと発見が多いと言っていました。

—具体的に参加者の方とお話ししてみてもうでしたか？—

下園 参加された皆さんは、完全な田舎暮らしを望んでいるわけではなくて、箱根は「自然」と「人の暮らし」がちょうどいいバランスであるところがいいと言っていました。確かにそのとおりかと。

参加者のご意見を紹介

トライアルステイでは各期間終了後に参加者の方にアンケートによる聞き取りを行っています。

トライアルステイを体験しての感想は？ 移住先としての箱根の利点欠点は？

- ・知名度は高いが、実際に住む場所としては、謎に包まれていた箱根のことをよく理解することができました。
- ・自然の中で、コミュニティを築きながら暮らすことへの魅力。みなさんが輝いて見えました！
- ・自然・生活利便性・都会へのアクセスを含めて、バランスの取れている土地であることが確認できました！
- ・利点：自然豊かで温泉があり、仕事とプライベートがより充実する要因がある。買い物できる街が近い。観光地なので活気がある。知名度が高く、友人・仕事仲間が来てくれやすい。東京との距離感がちょうどいい。田舎過ぎないところ。
- ・欠点：賃貸物件が少ない。クルマがないと生活しにくい。仙石原は高速バスはあるが、費用が高く定期的な通勤には現実的ではない。



先輩移住者との交流会

鈴木教 質問をノートにまとめてきたり、散歩して気になった空き地が活用できないかなど様々な意見を聞きました。

鈴木清 カフェをやりたいという方もいました。ただ自分のやりたいカフェをやるといってではなく、地域にどのような課題があって、自分がカフェをやることによってその課題がどう解消できるかまで考えていた方もいました。

鈴木教 こういったことまで考えて移住されるのはとてもありがたいし、実現したら繋がっていきなと感じました。

下園 そうですね。皆さん観光気分遊びまわっているのかと思つたら、そうでもなく…。買い物はどこでしたらいいかという質問も多かったです。滞在中はより生活に近い形で、周りの商店や御殿場で食材を買って自炊していた人も多かったようです。

(注)コワーキングスペースとは、オフィス環境を共有できる作業場のこと。異業種間の交流やコミュニティスペースとしても利用されています。